

平成27年7月7日

新図書館整備課

新図書館等複合施設の免震装置について

1 東洋ゴム工業（株）とのやりとり等について（前回の総務委員会（5月13日）以降）

○5月26日

【東洋ゴム工業（株）との面談】

- ・製品の出荷時期の見込み等を確認するとともに、出荷に際しては、他社での検査や第三者機関による評価などを行うよう再度申し入れる。

○6月15日

【東洋ゴム工業（株）に回答依頼文書（「免震ゴムの状況等について」）を送付】

- ・社外調査チームからの調査報告書の提出時期や、自社での性能検査データの提出等について、文書による回答を求める。

○6月23日

【東洋ゴム工業（株）からの回答書の提出】

- ・回答書の提出があったが、社外調査チームの調査報告書の内容や、性能検査の結果とその根拠等について確認したところ、再検討のうえ、再提出したいとの申し出があった。

○6月29日

【東洋ゴム工業（株）からの回答書の再提出】

- ・社外調査チームの調査報告書の内容等を踏まえ、回答書の再提出があった。

2 回答書の内容について

<主な回答内容>

- ・すでに製作している新図書館等複合施設用の免震装置を納品することができない。
- ・免震装置を再度製造し直すか、県及び高知市において他社製品による代替可能性を具体的に検討してもらえない状況にある。
- ・新図書館等複合施設と同じタイプの免震装置は、東洋ゴム工業（株）社製品、他社製品ともに現時点での出荷の見込みは全く立っていない。
- ・他社製品への交換については異議がなく、また、製品の出荷不能に起因する損害についても、県及び高知市と協議のうえ、補償する。

3 今後の対応について

- (1) 他社の免震装置への変更に係る検討
- (2) 開館時期の延期を踏まえた取組等

《開館時期の延期を踏まえた取組等》

1 開館延期により生じた期間をサービス等の充実に活かす取組

○図書館の専門家等で構成する検討委員会の立ち上げによる、サービス内容等のさらなる充実

- ・「基本計画」の中のサービス内容等のブラッシュアップ
- ・課題解決支援サービスの充実・強化
- ・ICTが進展する中でのサービス内容等の充実
- ・中心市街地活性化に向けた地元商店街等との連携
- ・ココプラや永国寺キャンパス、高知城歴史博物館等との連携

○研修の充実による司書等の専門性の向上

- ・先進図書館への長期研修派遣等の拡充
- ・先進図書館の動向を踏まえ、課題解決支援サービスの充実に向けた研修の実施

○業務統合をさらに円滑に進めるための両館職員の積極的な相互交流
(派遣・合同研修等)

○新図書館で行うサービスを前倒しし、その課題を洗い出して改善

2 仮設市民図書館への支援 (※高知市新庁舎の整備に伴い、平成28年4月に移転予定)

<県立図書館によるサポート>

○「郷土関係レファレンス・サービス」を実施

○小学生の図書館見学、中学生の職場体験等を受け入れ

<業務統合に向けて>

○市民図書館職員を受け入れ

※県立図書館職員と協働してデータベースやレファレンス業務を実施